

みなさん、こんにちは。

天候のせいか風邪が流行っているようです。博物館では土・日とイベントが続きました。

1. 明石昆虫探検隊 活動開始しました！

5月27日(土)、今年も明石昆虫探検隊の活動が始まりました。小学生と保護者のみなさん、指導にあたる明石市内中学校理科教材開発グループの先生方と合わせて約40名で明石公園内の昆虫調査をしました。駅から近く自然の残る明石公園で、身近な昆虫たちを通して、自然に親しみ、関心を持ってもらうことを目的としています。

まず、会議室で昆虫採集の方法を学び、さっそく公園を歩いてみました。最初に捕虫網をブンブン振り回す赤松先生(附属明石中)の網にウラナミアカシジミが。竹内先生(兵教大付属中)が「これは珍しいですよ。よくいましたね」と感心しきり。その後も、子どもたちの歓声があちらこちらで響いていました。



桜掘周辺でハチを観察



アカタテハのサナギ



羽化したばかりのアカタテハ

カラムシという草の葉の裏にはアカタテハの幼虫やサナギがたくさん。サナギになったばかりのものは表面に金色の突起物があり、みんなその美しさに見とれていました。観察のために博物館に持って帰ったところ、博物館の中でさっそく幼虫はサナギに、サナギは羽化して飛び始めてしまい、みんなびっくり。子どもたちと歩いたお母さんは「ふだん何回も来ているのに、今まで気がつかなかったものがたくさん見られて驚きました」と話してくれました。午後からは先生方に教わりながら、採集した昆虫を標本にしました。次回の活動は、6月24日(土)の予定です。

2. 明石原人まつり

5月27日(土)28日(日)の2日間、明石原人まつりが開かれました。1日目は中八木の八木遺跡公園で化石探査や石器作り。2日目は石ヶ谷公園で踊りやパレードがあり、博物館からは石器や勾玉作りと火おこし体験のブースを設け参加しました。



底引き網による化石探査：今年は収穫なし



原人の衣装で火おこし



勾玉作りは大盛況！

月曜日から、明石市内の中学2年生によるトライ・やるウィークが始まります。街のあちらこちらで中学生の姿が見られることでしょう。博物館にも火曜日から15人の中学生がやってきます。様々な体験を通して、仕事や働くということ、社会の様子を自分の目や耳で確かめてほしいですね。